

環境月間アンケート結果

アンケート実施期間： 平成 22 年 5 月 27 日 ~ 平成 22 年 7 月 3 日

回答数： 940 件

徳島県環境技術センターは、毎年恒例となっている環境月間のアンケートを実施した。アンケートは、検査員が法定検査時に配布、回収したものの 928 件（99%）と、ホームページ上で実施した 12 件（1%）の計 940 人から回答を得た。検査時の回答者を年代別に見ると、60 歳以上が 58% と半数以上となり、50 代の 18% と併せると、50 代以上の世代が 75% 以上を占める。また、性別では、検査時、ホームページとともに、女性が 66% を占め、女性の割合が高いことが分かる。アンケートの結果、約 7 割の人が「川の汚れの原因」は、生活排水であるという認識を持っている。

水環境の気になる要素として、約 7 割の人が、においや濁り、ゴミなどの浮遊物の「水の汚れ」と回答しており、視覚的、嗅覚的に感じることの事柄が気にかかる要素となっている。また、水環境の保全のため、家庭で取り組んでいることとして、キッチン・排水口にネットを取り付けている人が 46% を占めた。このことから、目に見える汚れを排水溝に流すことが環境へ与える影響が大きいと認識していることがわかる。しかし、水に溶けた汚れは、水に薄まってしまうため、環境への影響は少ないと認識されているように思える。行政の取り組みに対しては、下水道・浄化槽などの施設整備を望む回答が 39% と多かった。

下水道と浄化槽どちらが有効かという問いに関しては、下水道支持が 4 割以上を占め、浄化槽支持の 24% より圧倒的に多かった。受検者の単独・合併浄化槽別に見ると、合併浄化槽使用者は、下水道支持と浄化槽支持の差があまりなかったが、単独浄化槽使用者は、圧倒的に下水道支持が多かった。このことから、実際に合併浄化槽を使用している設置者には、浄化槽の機能が正しく評価されているように思われる。

くみとり槽、単独浄化槽からの合併処理浄化槽への転換で支障になっていることについては、既に合併浄化槽を使っている人が 3 割で、4 割が設置費用だと回答した。

このアンケートの結果から、浄化槽の機能や有効性が正しく理解されていないように思えると同時に、わからないと回答した人が多いことから、住民の汚水処理に関する関心の低さと、情報提供や啓発が十分ではないことが分かった。

センターとしては、住民に対して、浄化槽に対する関心、理解を深めるため、さまざまな機会を持ち、PR していくと同時に、維持管理が 100% 確保できるようにしていきたい。

環境月間アンケート結果

調査方法

検査時に配布・回収
ホームページからのアンケート回答

調査回答数 (全 940件)

検査時の回答数 928件
ホームページからの回答数 12件

回答者の属性

問1 性別

全体 (男性321件、女性619件)

検査時 (男性317件、女性611件)

ホームページ (男性4件、女性8件)



回答者の属性

問2 年齢

全体

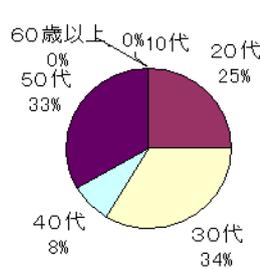
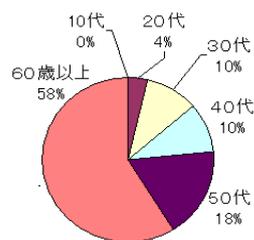
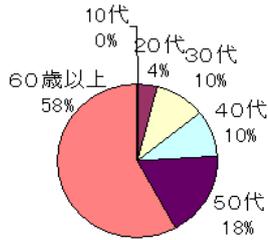
10代 :2件
20代 :37件
30代 :96件
40代 :91件
50代 :167件
60歳以上 :547件

検査時

10代 :2件
20代 :34件
30代 :92件
40代 :90件
50代 :163件
60歳以上 :547件

ホームページ

10代 :0件
20代 :3件
30代 :4件
40代 :1件
50代 :4件
60歳以上 :0件

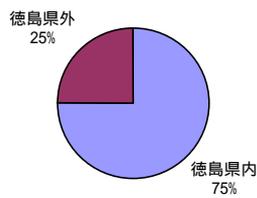
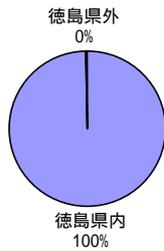


回答者の属性

問3 住所

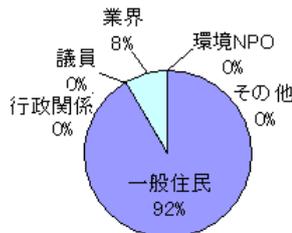
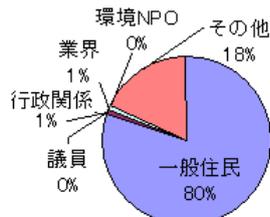
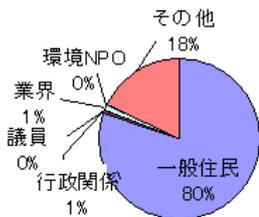
全体 (徳島県内:937件、徳島県外:3件)

ホームページ (徳島県内:9件、徳島県外:3件)



回答者の属性

問4 職業



全体

一般住民 :753件
行政関係 :7件
議員 :1件
業界 :8件
環境NPO :0件
その他 :171件

検査時

一般住民 :742件
行政関係 :7件
議員 :1件
業界 :7件
環境NPO :0件
その他 :171件

ホームページ

一般住民 :11件
行政関係 :0件
議員 :0件
業界 :1件
環境NPO :0件
その他 :0件

Q1 最近、川の汚れがひどくなっていますが、一番の原因は何だと思いますか？

家庭から出る排水	649件	
工場等からの排水	129件	
その他	162件	

Q2 あなたが水環境について特に気にかかる要素はなんですか？最も当てはまるものを一つ選んでください

におい	273件	
水の色、にごり	242件	
目に見える程度のゴミや浮遊物	157件	
水量	72件	
生物の生息状況	141件	
遊歩道など、水辺に親しむための周辺整備の状況	55件	

Q3 公共水域の水環境保全のため、行政はどのような取り組みをするべきだと思いますか？

環境教育や普及啓発活動を積極的に推進する。	194件	
排水規制等をより厳しくする。	122件	
水環境保全に効果のある情報を提供する。	91件	
下水道や浄化槽などの生活排水を処理する施設の整備を図る。	373件	
わからない。	160件	

Q4 生活排水による公共水域の汚濁を防止するには、下水道と浄化槽のどちらが有効だと思いますか？

下水道	402件	
浄化槽	221件	
わからない。	317件	

・受検者で単独浄化槽 / 合併浄化槽別に集計(記名回答 903件が対象)

	単独	合併	
下水道	241	152	
浄化槽	89	120	
わからない	171	130	
合計	501	402	903

Q5 あなたが水環境保全のため、家庭で特に取り組んでいることを一つ教えて下さい。

食器は一旦汚れを拭き取ってから洗っている。	181件	
キッチンの排水口にネットを取り付けて生ゴミが流れないようにしている。	421件	
台所用洗剤や洗濯洗剤の使用量をできるだけ少なくしている。	126件	
風呂の残り湯を再利用している。	108件	
特にしていない。	104件	

Q6 くみとり槽、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換で支障になっていることは何だと思いますか。

設置費用が高い	377件	
設置場所が無い	69件	
家の建替、転居等に伴い設置予定である	19件	
既に合併浄化槽を使用している	252件	
その他	223件	